

第162回

岩手朝日テレビ放送番組審議会

議 事 録

(平成24年10月)

2012.10.24

株式会社 岩手朝日テレビ

第162回 放送番組審議会議事録

1. 開催日時 平成 24年 10月24日 (水) 11時～
2. 開催場所 岩手朝日テレビ 3階 会議室
3. 委員の出席

委員総数 7名

出席委員数 4名

委員 長	村 田 久
委員	小 松 豊
委員	そのだ つくし
委員	田 口 幸 雄

欠席委員数 3名

委員	大見山 俊雄
委員	小田島 利 昭
委員	畠 山 さゆり

会社側出席者名

代表取締役社長	富 永 健 治
専務取締役	辻 一 成
取締役報道担当	小 椋 和 雄
取締役	長 生 正 広
報道制作局長	佐々木 貴
報道制作局部長	伊 波 伴 准
編成業務局長兼放送番組審議会事務局長	柏 葉 智
番組審議会事務局	佐 野 尚

4. 議 題

(1) 合評番組

「ゴエティーニヨ」

放送日時 10月6日(土) 7時00分～7時30分

(2) 11月単発番組及び10月の視聴率について

(3) 次回審議会

開催日：平成24年11月29日(金) 11時～

岩手朝日テレビ3階会議室

合評課題：「ほっとネットとうほく 世界のもちの聖地を目指して」(仮)

放送日時：11月23日(金) 10時30分～11時25分

5. 概 要

- * 柏葉事務局長より11月の単発番組と10月の視聴率の内容が発表された。
- * 合評課題は10月6日放送の新番組「ゴエティーニヨ」。
- * 民謡調の歌が特徴的だったり、ゴエティーダンスのテンポがよかったりと、飽きる前にコーナーが展開していくので、子供と一緒に大人も楽しめる。
- * 岩手の方言を紹介したり、挨拶の大切さを伝えるコーナーがあるなど、子供にとってためになる内容になっている。
- * 子供向け番組なのに子供の露出が少ない。スタジオに登場させMC2人と一緒にダンスを踊ったり、積極的に幼稚園や保育園を回り子供と触れ合ってみてはどうか。
- * 男性MCのしゃべりやしぐさにぎこちないところがある。慣れていない部分もあると思うので今後期待したい。

6. 議事の内容

柏葉事務局長 それでは、只今より、第162回岩手朝日テレビ放送番組審議会を始めます。それでは村田先生、議事をよろしく願います。

村田委員長 それでは富永社長、一言お願いします。

富永社長 本日もお忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。

上期が終了して視聴率については、第一四半期は好調に推移したということをご報告しましたが、第二四半期に入り若干不足している部分もあって、めんこいテレビに抜かれてしまっています。下期については「相棒」などのドラマも好調にスタートしていますし、他にはサッカーやフィギュアもあるなど、下期も頑張っている視聴率を残せばと思っています。

上期の営業の売り上げは開局以来新記録になりました。これからいろいろなことを行う下地ができるかなと思っています。明日は全国番審があるということで宜しくお願いします。

村田委員長 それでは11月単発番組及び10月の視聴率について願います。

柏葉事務局長 それではご説明いたします。11月の単発番組は2番組あります。

まず、3日土曜日、午後2時20分から「IAT出前カラオケ特別編」、先月14日に二戸市で行われました「マースプレゼンツ竹島宏の歌大会」をお送りします。

それと23日金曜日午前10時30分から「ほっとネット東北 世界のもちの聖地を目指して」(仮)を放送します。その多彩さから日本一と言われる岩手県一関地方のもち料理、先月20日に市内のもち団体が集結して今までの集大成的イベント「もちサミット」が初めて開催されました。平泉の文化遺産を絡めながら、サミットへの取り組みと世界のもちの聖地を目指す人々を描いていきます。

11月もスポーツ番組が目白押しです。2・3日フィギュアスケートグランプリシリーズ中国大会、4日には第44回全日本大学駅伝選手権大会、10・11日には伊藤園レディースゴルフ、14日午後8時からワールドカップサッカーアジア最終予選オマーンVS日本をお送りします。

現在3勝1分けでグループBトップの日本、この試合から折り返し残り4試合となります。この試合に勝てばワールドカップ進出にかなり前進するのではないかと思います。

18日には昼12時から第4回横浜国際マラソン、同日午後6時から野球侍ジャパンマッチ 日本 VS キューバを放送します。来年3月に行われるワールドベースボールクラシックに先駆けて、侍ジャパンが結集して戦います。

次に10月の視聴率についてご説明します。全日7.0%、ゴールデン12.6%、プライム12.1%、プライム2は7.1%。全日・ゴールデン・プライムとも3位でした。また、プライム2は42カ月連続1位を継続中です。

10月は改編期、特番週になりまして、各局とも2時間、3時間スペシャルの戦いとなりました。その中で弊社はゴールデン・プライムともに2週平均で3位でしたが、それぞれの週では2位となっていて安定した数字を挙げています。特に今月からシリーズ11作目の「相棒」、これが初回18.7%、翌週も16%と高視聴率でスタートすることが出来ました。また高視聴率女優と言われている米倉涼子主演の「ドクターX」も初回15.6%と好調な出だしとなっています。お手元の資料にはありませんが、今月から始まった本日の合評課題「ゴエティーニョ」ですが6日は視聴率週ではありませんでしたが、12日は1.2%、18日は1.0%でした。前に放送している子供番組から数字が流れているので、メインターゲットは押さえていると考えています。また番組内にもありましたゴエティーパンも発売から10日で1400個を売り上げたと報告を受けています。このパンは白石パンで製作、8店舗で販売しています。1日で10個、10日間で800個売れるのを目標にしていたのですが、それよりも大幅に販売数が上回ったと聞いています。本日は会議終了後、委員の皆様にごエティーパンのお土産がございますので、本会終了後お持ち帰りください。

続きまして、放送番組の種別ごとの放送時間についてご報告します。4月にもご報告しましたが、去年3月に施行されました新放送法によりまして年2回、放送した番組の種別ごとの放送時間を報告することになっております。今回10月は4～9月までの6カ月間の番組種別ごとの放送時間を報告させていただきます。各月第3週が対象期間となっていて、

その対象期間の放送時間全体が56,615分でした。
報道が11,711分、教育が5,899分、
教養が11,930分、娯楽が19,029分、その他（通
信販売）が7,288分、その他（オープニング・クロージ
ングなど）が758分でした。
また、対象機関のCM放送時間は8,174分でした。
この内容は後日IATのホームページでも公表いたします。
以上です。

村田委員長 何か質問・意見などございませんでしょうか。

田口委員 フィギュアの中国大会は、何か問題はないのでしょうか？
尖閣問題で中国は出場しないとか。

柏葉事務局長 問題なくスタート出来そうですね。今回は高橋大輔、浅田
真央が出ますので、選手の方も気にせずということで頑張っ
てくれるでしょう。

村田委員長 単発で放送されるもちの番組ですが、今取材中ですか？

佐々木
報道制作局長 この間行われたもちサミットでクランクアップしまして、
これからまとめに入ります。

村田委員長 楽しみです。私は一関出身ですが、もちの取材というのは
昔からありましたから、今回どうやったのか興味があります。
一関の田舎は今でももちを作っているのですが、何かお祝
い事があると、ごぼっばもちを作ります。この辺を聞いてみ
たかったけど。山ゴボウでもちを作る習慣があるんです。
一関の場合は、猯鼻・水山・東山地区辺りで、山ゴボウを採
ってもちに練りこんで、ちょっと餡子入れたのがごぼっばも
ちです。古くからの歴史があるが、ここまではリサーチして
いないのではないかと思います。

長生取締役 それは天然の山ゴボウですか。

村田委員長

そうです。各家庭に山ゴボウの持ち場があって、要するに暗黙の了解があって、あの山の山ゴボウはあそこの家のものだとかありました。実は私のところに毎年電話があって、ごぼっもちを貰うのが楽しみで。岩手宮城内陸地震が起きてから電話が来なくなってしまい、山ゴボウがとれる場所が崩れてしまったのかと思っています。山ゴボウは貴重ですから。葉の裏が真っ白なんです。蒸かした山ゴボウの葉を冷凍にしておいて、お祝い事があつたらそれを使います。そんな珍しいもちもありますが、番組では取り上げてくれているのでしょうか。気になったものですから。

佐々木
報道制作局長

場合によってとりあげますか。

村田委員長

そのほか視聴率・単発番組について何かございますか。今回は捜査地図の女やドクターX、相棒が新番組として加わりましたが、捜査地図の女はちょっとピンときませんが、ドクターXは面白いですね。視聴率もそれほどめんこいテレビと差はないですから頑張っている方ではないでしょうか。その他何もなければ合評課題に移ります。

田口委員

なかなか幼児向けの番組を見るのがほとんどないものですから。孫も遠くにいますし。幼児の気持ちになってと思いましたが、それも無理でして。感じたことを話します。

担当する2人、及川さんと藤原アナですが、藤原アナは普通にやっているようですが、及川さんは苦勞がうかがえます。子供向けなので表情や話し方に工夫が必要で、大変さを感じました。

最初のゴエティードダンスは音楽が派手で、子供の反応はどうなのかと感じ、孫に見せると私がいいと思うところ以外のところに反応するので、子供向けとしてはいいのかなと思いました。

歌も最初は聞き流していましたが、岩手の言葉のコーナーで「わらしゃんど」が取り上げられていて、改めて歌を聴くとそれが歌詞の中にもあり、いい歌詞だなと。

番組の構成は遊びや子供の興味を引く内容になっていて、勉強や横断歩道の渡り方、しつけとか。大人とすればいい内容だなと思いました。その中から子供が学べるのかなと。

中でも「ご挨拶」のコーナーですが、民謡調の歌が子供の心に残っているように感じました。

全体的にはかなりの内容が次々展開して、テンポが速く感じましたが、子供の場合は意外とそうでもなく、速いテンポの方が飽きさせないのかなと思いました。

つのだ委員

のりえおねえさん、よくやったなど。じゅんいちおにいさんもアクションがオーバーで、それがマッチしていて分かりやすいと思いました。ただバーチャルスタジオのゴエティーの動きが単純だったので、着ぐるみを出演させてもいいのかなと。ダンスのシーンにもどこまで動けるか分からないけど、ゴエティーの着ぐるみが出演してほしかったです。

だんだん慣れてきたときには、子供たちもスタジオに入れてかわいい衣装を着て踊ってほしいなと思いました。全体的に盛りだくさんだったので飽きずに見ることが出来ました。英語のコーナーも何気に大人っぽいテイストも入っていたり、英語のサニーとか公園ブルースとか、BGMも大人が興味を示すものでした。風船バルーンのBGMがセクシーだったのが少し驚きました。民謡調の歌も子供には新鮮で良かったと思います。

飽きる前にコーナーが展開したので、子供と一緒に最後まで見る事が出来ました。8歳の娘に意見を聞くと、気になったのはダンスが難しいとのこと。一緒に踊ったが足の動きが難しいなど。曲は頭に残る内容なので娘にも見てもらいたいし、良かったです。MC 2人の会話のやりとりが物足りない気がして、子供番組なので小学生の子供も一緒に入れてもいいと思いました。

子供番組でこれだけ盛りだくさんだと岩手の番組では充実していると思いますし、もっとレベルがアップしていくことを期待します。

小松委員

私も子供が2人いまして、長男が9歳、次男が5歳。なるべく彼らの意見を取り入れようと思いました。番組を見て感じたことは対象年齢がどれくらいかということでした。見た感じ相当低年齢向けかと思いました。上限は小学3年生がギリギリかなと。それとじゅんいちおにいさんが一般公募だと事前に聞いていて、先入観があるかもしれませんが、余裕がないというか、頑張っているようには見えませんがたまに目が泳いだりするのが気になりました。

ゴエティーダンスですが、身近に方言が聞けて、親近感が湧きました。今、方言が少なくなる環境の中、子供にとっていい教材になるのではないかと感じました。英語のコーナーのスーパーが出たり出なかったりしているので、子供に覚えてもらうのが目的ならば、カラオケの画面みたいにならずずっと出し続けるのも一つのやり方だと思います。個人的には「どでんした、ほにほに」というフレーズが好きです。公園ブルースは何を言っているのか私には分からないが、子供の共感を得られるのかなと。いわての言葉では、愛子おばちゃんインパクト強すぎでもう少し引いて見せてもいいのでは。

ダンスと英語のコーナーを2回ずつやったのは印象付けためなのか、記憶には残ると思います。パパママゴエティーは親にとってはいい情報ではないかと思っています。

村田委員長

タイトルに先入観があったためか、見終わって「何だろう」という気持ちになり、評価するのが難しいなと思いました。ダンスや歌があり明るくてテンポのいい番組だけれども、内容的に幼稚園児には難しいような博物館のコーナーがあり、スーパーがたくさん出たりイベントの紹介があったりと、番組が子供向けなのかどうなのか疑問に思いました。よって何を伝えたいのかははっきりせず疑問を感じました。子供が見てどう思うのか、私の家には小さな子供がいないので分かりませんが。

それとスタジオや映像に子供の露出がほとんどない。子供の笑顔とか声が茶の間に届くのが一番いいのではないかと考えています。たまには親子のシーンがあってもいいと思うし。一番の問題は肝心のゴエティーの動きがワンパターンに感じます。もっと変化をつけるために着ぐるみを出すなりしないと、番組タイトルであるゴエティーニョが希薄になってしまうように思います。もっと内容を絞り込んで、子供が参加する子供番組という形にするようにした方が良くはないかと思っています。

これから番組がどう変化してどうこなれていくのか、見ものです。全面的に出すのがダンスなのか歌なのか、私は迷いながら見ていました。博物館やイベントの紹介は、子供には分からないと思います。その部分の対象は大人だと思うが、本当にそれでいいのか。始まったばかりの番組だし、制作側の創意工夫もこれからだと思います。はっきりしたスタンスのもとに制作していかないと飽きられてしまうと思うので、そのあたりが今後の課題だと感じます。

佐々木
報道制作局長

貴重な意見をありがとうございます。私たちもこのような番組を制作するのは初めてですから、試行錯誤をしながらやっています。番組の対象は幼稚園児から小学生の低学年です。番組の狙いは、弊社のキャラクターであるゴエティーを県民に広くPRすることと、土曜の朝帯を子供たちに注目してもらいたいというところにあります。皆さんのご指摘の通り、子供番組なのに、子供の露出が少ないです。そして着ぐるみを出演させるというご意見は、私ら制作側はバーチャルでゴエティーを出すことばかり頭にあったので、考え付きませんでした。

逆にそのようなシンプルな方法もあるかと、改めて気づきました。子供の参加やゴエティーの露出方法など、自分たちで楽しみながら工夫していきたいし、それが視聴した子供たちの共感を呼ぶのだと思います。

伊波
報道制作部長

いろいろなご意見、ありがとうございます。いただいたご質問を分かる範囲でお答えします。

番組のターゲットは未就学児から小学校の低学年までですが、両親や祖父母も一緒に見ることも想定しています。よって全くの子供番組というわけではなく、大人が見ても楽しめるように試行錯誤をしています。

番組のテンポについてですが、CMと番組本編の区切りが分かりづらいという指摘が、社内外からありましたので4～5回目の放送から変化をもたせ、CM入りの直前にはCM後のVTRを先出しする形をとりました。ゴエティーについては飛び跳ねたり、手を振ったりなど数パターンの動きをバーチャルで表現できるよう取り組んでいるところです。

MC 2人の会話については、しゃべっているだけでは良くないと。例えばスタジオでコーナーの1つを持たせて2人にチャレンジさせるとか。視聴者からの届けられた葉書や絵などを紹介するコーナーを作ることも考えています。おにいさんの目線については、皆さんが感じたとおり、まだまだ慣れないところがあります。頑張っ解決していこうと話をしていくところです。

テロップが多いのは私も感じていました。説明テロップはなるべく簡潔に。編集をしていると文字をたくさん入れたくなりますが、それを読める時間と分量、そして最低限のナレーションで制作できるよう努力していきます。

子供を番組内に登場させる件ですが、おにいさんが幼稚園や保育園に出かけていたり、子供がダンスをするシーンを撮ったVTRを応募するなど、少しずつ子供の露出を増やしていく予定です。

先日岩泉町でゴエティーキャラバンを実施してきましたが、おにいさんが初リポートに挑戦しました。これも次回の番組内で放送します。

ダンスの難しさは確かにありますが、逆にしっかり踊れる子供が出来たら、将来的にはゴエティーダンサーズ的なものも作っていければと。ヒップホップの要素も取り入れたため、足の動きは難しいですが、子供たちにコミュニケーションを取りながら教えていきたいです。

いづれにせよまだ始まったばかりで改善点も多くありますが、より子供たちとゴエティーが仲良くなって、岩手の土曜朝を盛り上げていきますので、今後ともよろしく願いいたします。

村田委員長

ありがとうございました。岩泉のキャラバンは楽しそうでしたね。ああいう取材の仕方いいのではないのでしょうか。MC 2人が幼稚園を回るとか、運動会に参加するとか。そういうことをしていけば親しみやすくなるし、認知度も上がるのではないのでしょうか。

ほかには何かないのでしょうか？なければ次回の開催についてお願いします。

柏葉事務局長

次回の開催は11月29日、こちらの3F会議室で開催します。合評課題は先ほどの単発番組の紹介でお知らせしました11月23日午前10時30分から放送される「ほっとネットとうほく 世界のもちの聖地を目指して」です。現在は仮タイトルになっていますが、放送時間は変わりませんので、ご覧いただき貴重な意見をいただきたいと思えます。以上です。

村田委員長

その他何かございませぬか？なければこれで終了します。ありがとうございました。

7. 審議機関の答申または改善意見に対して措置
ご指摘頂いた点を、今後の番組作りの参考とすることとした。
8. 審議機関の答申または意見の概要の公表
朝日新聞岩手県版に審議概要を掲載。
系列各局に議事録を送付。
本社受付に議事録を常備、閲覧に供す。
インターネットホームページに掲載。
9. その他の参考事項
特になし
10. 配布資料
 - ◎ 11月単発番組編成予定表
 - ◎ 10月岩手地区視聴率